

☆ 北欧4カ国に注目する3つの理由

ポイント① 欧州の中の富裕国グループ

ユーロ圏の一人当たりGDPはほぼ日本と同じ40,000米ドルに迫る水準にありますが、北欧諸国、とりわけ北欧4カ国（ノルウェー、デンマーク、スウェーデン、フィンランド）はさらにその水準を大きく上回ります。高福祉・高負担が話題になる地域でもありますが、現状に対する国民の満足度も高く、世界でも屈指の裕福な地域であるとも言えそうです。

一人当たりGDPランキング(2013年)

単位: 米ドル

順位	国・地域名	金額
2	ノルウェー	100,819
7	デンマーク	58,894
8	スウェーデン	58,269
10	米国	53,143
15	フィンランド	47,219
23	日本	38,492
24	ユーロ圏	38,167

出所: 世界銀行のデータをもとに当社作成

幸福度ランキング(2013年)

順位	国名	ポイント
1	デンマーク	7.693
2	ノルウェー	7.655
3	スイス	7.650
4	オランダ	7.512
5	スウェーデン	7.480
6	カナダ	7.477
7	フィンランド	7.389

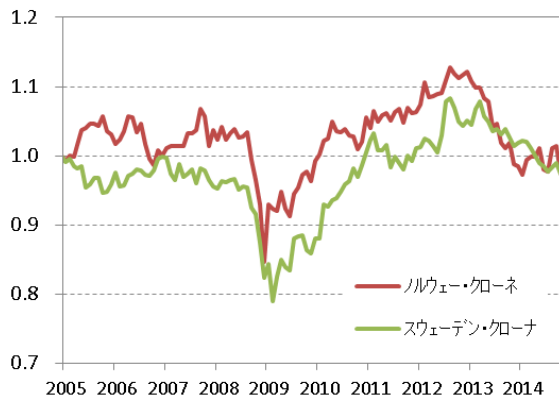
出所: コロンビア大学アース インスティテュート「世界幸福度調査」のデータをもとに当社作成

ポイント② 独自の金融政策を展開

ユーロ導入が進む欧州ですが、ノルウェーとスウェーデンは固有の通貨を維持し（デンマーク・クローネはユーロに連動（ペッグ制））、独自性を確保しています。また金融政策の独立性が維持されていることから、政策金利の水準や動向もユーロ圏とは異なることがわかります。

対ユーロレート推移(2005年1月～2014年10月)

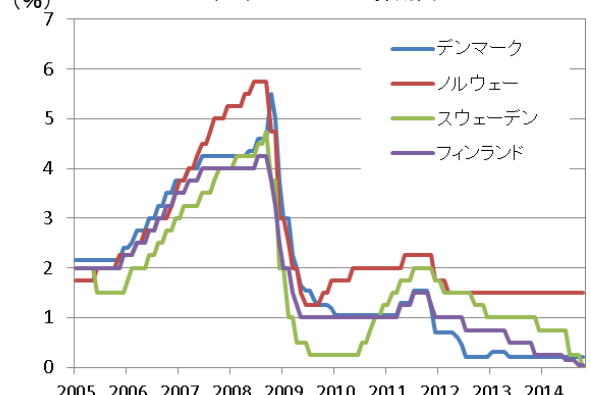
※2004年末数値を1として指数化



出所: ブルームバークのデータをもとに当社作成

政策金利推移(2005年1月～2014年10月)

※フィンランドはユーロ採用国



出所: ブルームバークのデータをもとに当社作成





【本資料に関するご留意事項】

本資料は、BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社(当社)が、北欧の資本市場と政治、経済等に関する情報を提供することを目的として作成したものです。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の数値、図表、見解や予測などは本資料作成時点でのものであり、予告なく変更する場合があります。

☆ 北欧4カ国に注目する3つの理由

ポイント③ 歴史的にも密接な関係

北欧4カ国は、隣接している、距離が近いという物理的な関係のみならず、一時は同一の元首に統治されていたこともあります(カルマル同盟成立時期)。長期に亘り、様々な組み合わせで連合国家を形成していた歴史も同地域の特徴であり、国境を越えた事業展開、経済圏の形成の背景の一つとなっています。

西暦	 デンマーク	 ノルウェー	 スウェーデン	 フィンランド
1323			スウェーデン王国(フォルクンガ朝)による支配開始	
1380	デンマーク=ノルウェー連合王国			
1397	カルマル同盟			
1523	スウェーデン=フィンランド地域がカルマル同盟より離脱		スウェーデン王国(ヴァーサ朝)成立	
1536	デンマーク=ノルウェー二重王国 (アイスランド、グリーンランドをノルウェーより取得)			
1809				フィンランド大公国建国 (実質ロシアに帰属)
1814	ナポレオン戦争で敗戦 ノルウェーを失う	スウェーデン=ノルウェー 連合王国		
1905		ノルウェー王国成立	スウェーデン=ノルウェー 連合王国解消	
1914	第1次世界大戦: 中立	第1次世界大戦: 中立	第1次世界大戦: 中立	ロシアが連合国として参戦
1917				フィンランド、ロシアより独立
1939				対ソ戦勃発
1940	ドイツの占領開始	ドイツの占領開始	中立維持	
1944				対ソ戦終了
1945	独立を回復	独立を回復		ソ連への従属的外交
1949	NATO加盟	NATO加盟		
1973	EU加盟			
1995			EU加盟	EU加盟
2000				ユーロ導入

出所: 各種資料をもとに当社作成

【本資料に関するご注意事項】

本資料は、BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社(当社)が、北欧の資本市場と政治、経済等に関する情報を提供することを目的として作成したものです。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の数値、図表、見解や予測などは本資料作成時点でのものであり、予告なく変更する場合があります。

☆為替・金利の動向

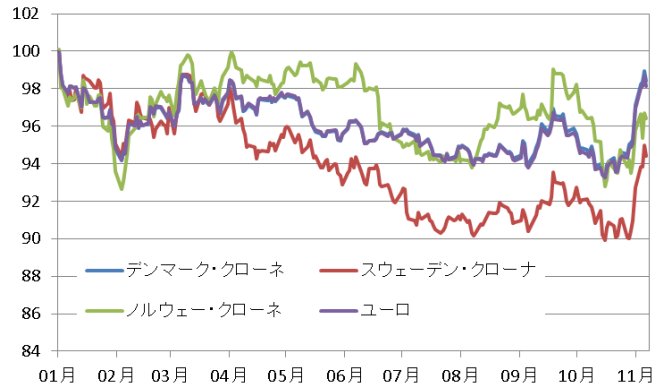
対円レート推移(2014/10/23～11/6)

	10月23日	10月30日	騰落率	11月6日	騰落率
ノルウェー・クローネ	16.45	16.32	-0.8%	16.74	2.6%
スウェーデン・クローナ	14.91	14.90	0.0%	15.47	3.8%
デンマーク・クローネ	18.38	18.53	0.8%	19.15	3.3%
ユーロ(フィンランド)	136.82	137.97	0.8%	142.44	3.2%

北欧4カ国通貨は対円で上昇しました。10月29日に米連邦公開市場委員会(FOMC)が資産購入プログラムの終了を決定したことや、日本銀行による予想外の追加緩和決定を受け、円は対主要通貨で下落しました。また、産油国であるノルウェーの通貨、ノルウェー・クローネは本格的な反発の兆しが見られない原油価格の動向に加え、9月の失業率、小売売上高が事前予想を下回ったことを受け、対ユーロで弱含む展開となりました。

対円レート推移(2014/1/1～11/6)

※2013年末数値を100として指数化



出所:ブルームバーグのデータをもとに当社作成

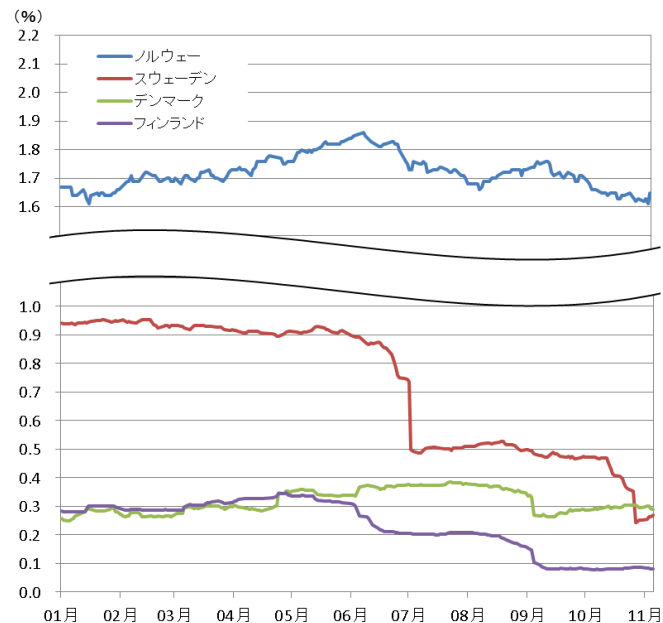
銀行間取引金利3ヶ月物推移(2014/10/23～11/6)

※単位は%

	10月23日	10月30日	変動幅	11月6日	変動幅
ノルウェー	1.650	1.580	-0.070	1.630	0.050
スウェーデン	0.367	0.253	-0.114	0.269	0.016
デンマーク	0.305	0.295	-0.010	0.290	-0.005
ユーロ圏(フィンランド)	0.085	0.086	0.001	0.081	-0.005

北欧4カ国の銀行間取引金利は低下しました。26日に欧州中央銀行(ECB)によるストレステストの結果、主要銀行が合格したことやドラギ総裁が追加の緩和策に言及したことが好感されました。また、スウェーデンではスウェーデン国立銀行がゼロ金利政策の導入に踏み切り、銀行間取引金利は大きく低下する一方で、ノルウェーでは原油安によるエネルギー関連企業の業績悪化が懸念され、銀行間取引金利の低下幅は縮小しました。

銀行間取引金利3ヶ月物推移(2014/1/2～11/6)



出所:ブルームバーグのデータをもとに当社作成

【本資料に関するご留意事項】

本資料は、BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社(当社)が、北欧の資本市場と政治、経済等に関する情報を提供することを目的として作成したものです。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の数値、図表、見解や予測などは本資料作成時点でのものであり、予告なく変更する場合があります。

☆ 北欧ニュース

＜フィンランドを格下げ＞

格付会社スタンダード・アンド・プアーズ(S&P)は、高齢化やそれによる労働人口の縮小といった内需要因や周辺国および地域での外需の低迷を背景に、フィンランドの格付けを最上級の“AAA”から“AA+”に引き下げました。見通しは“安定的”としています。今般の事態を受け、主要格付け機関の全てから“AAA”格付けを取得しているユーロ加盟国はドイツとルクセンブルクのみとなりました。

＜ルンディン・ペトロリウム社(スウェーデン)、ノルウェー沖で大油田を発見＞

スウェーデンのルンディン・ペトロリウム社はノルウェー沖のバレンツ海で、埋蔵量が4億バレルに達する可能性のある油田を発見したことを公表しました。この新油田は同社が昨年発見した大油田から20キロ程度の近隣にあり、一括での事業展開が期待されます。同社の見積もりが正しければ、2011年に採掘を開始したヨハンスベドゥルップ油田には及ばないものの、この10余年でノルウェーで発見された最大級の油田の一つとなります。北海の原油・天然ガス採掘量が逡減傾向にある中、ヨハンスベドゥルップ油田の発見の例もあることから、バレンツ海では試掘件数が増加しています。

＜ノルウェー政府、サケ養殖大手セルマックの保有株式を売却へ＞

ノルウェー政府は、サケ養殖世界第3位のセルマック社の政府保有株を三菱商事に売却したことを発表しました。セルマック社はチリでのサケ養殖に強みを持ち、既に同業のサルモネス・フンボルト社(チリ)を傘下に収めている三菱商事はサケ養殖世界最大手のマリンハーベスト社に次ぐ事業規模を誇ることとなります。

＜男女格差が少ない国のベスト5に北欧4か国全てがランクイン＞

ジュネーブに本部を置く世界経済フォーラム(WEF)は2014年の“グローバル・ジェンダー・ギャップレポート(世界男女格差報告)”を発表しました。この報告は経済活動への参加・機会、教育の到達度、健康と寿命、政治活動への参加・権限の要素における男女差を指数化して算出しています。男女格差が少ない(男女の平等性が高い)国のランキングは順にアイスランド、フィンランド、ノルウェー、スウェーデン、デンマークの結果となり、上位5か国を北欧諸国が独占する結果となりました。

出所:各種資料をもとに当社作成

* 上記は文中に登場する企業に関連する特定の有価証券等の取得勧誘を行うものではありません。



BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第378号

加入協会 一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

【本資料に関するご留意事項】

本資料は、BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社(当社)が、北欧の資本市場と政治、経済等に関する情報を提供することを目的として作成したものです。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の数値、図表、見解や予測などは本資料作成時点でのものであり、予告なく変更する場合があります。